

変化、変換、変革の時

西アフリカの原始生活。ごんき。水道。ガスもない
シンプルで最低限の生活。女性たちは
生きる為に走りまわら寝るまで働いていた。
男たちは知恵と経験で生きていた。

誰でも動物をさばけるし、食べれる木の実なども
良く知っていた。まさに本物の野生だった。
日本人のひ弱さをも思い知らされた。

全人に与えらるゝ生きていた。電気もガスも水道
も、お金と引きかえに当然のこととムダ以上に使っていた。
まさに飼育ならされて、生きる力を失ってしまった日本人。
その日本に大変な事が起きた事を、村の唯一のステイ
電池式のラジオから、珍しく流れた英語のニュースで
知った。ドキドキして、早く本当の事が知りたかった。
でも、直感的に、家族の事は大丈夫の様な気がした。
連絡もとれないのでカンを働かせるしかなかった。
空気や空の感じで、何か不安な事があるかなにか
察知するしか方法がなかった。祈るしかなかった。
結局、その頃は、お祭りをして近くの村々を回り上げ
に回っていたワロウムの最中だった。
僕は毎日、不安と戦いながらもお祭りに演奏し続けた。

行った先々の村では、村によっては2年振りの
お祭りだったり、はじめと東洋人がジンベをたたくのを
見た人もいたり。もちろん、肌が白いだけでジロジロと
なめまわす様に見えたり、日本の三味線を持っていた
ので、奄美の島唄で「ごあいさつ」の唄を聞かせてもらったり。
ワイド節でみんなでおどったり、アフリカの伝統のまつり
を軽馬合させてもらったり、太鼓をたたいて、お祭りをして、
人に喜んでもらえる事が不安をぬぐうしか方法がなかった。
でも、日本に思いを送り続けた。連絡がつかず
奥さんの声を聞いて安心した。その落ちつき、及ぶりに、
肝がすわっているなあと改めて感心した。と同時に
残りの日程でも人に楽しんでもらえる様、決意した。
不安をかかえながら日本に帰ってきた。
成田～横浜馬尼～有馬見馬、人々も町も普通
に感じた。もう二週向も経っていたので、関東は、
少し節電している以外は普通だった。
でも、帰ってきて人と話すとき、みんな一変に変わった。
なぜなら、地震や津波のショックと、放射能に対する
不安から、みんながみんなゆううつな陰をひきずっていた。
街の空気も重く感じた。アフリカ帰りのテンションを
どこに持っていたらいいのよ。自分の中のバランスも
崩れはじめしてきた。でも、それを救ってくれたのも
音楽だった。事態が事態なので、ライブも中止が増えた。

でも、その中でも、やり終えた。わざわざこんな大変な時に、集まってくれる。会いに来してくれる。集いりにしてしてくれる。今こそ音楽の力が必要なんだ。この為には帰ってきたんだ。日本人の意識が変革していた。日本を出る前は、みんな、逆に途方に暮れていた。何もいともうなるほど、やる気がなかった。毎日をグダグダ過ごしている様に映った。みんなうろたっていた。でも、今回の事で、少し身がまきしまった。原発も、僕らに怒りもあらわにした。今、原発、原発といまなり犯罪者扱いをしていいるが、原発を作ったのも我々の生活だ。誰も悪くない、テレビもムダに見ている自分。パソコンやケータイも日常的に使っている人。冷蔵庫は一家に一台。洗たくや、ドアの周回、2階に上がるエレベーター。改札もき、ぶき自動。人と会話する事で物が量える。原発を作ったのは我々の生活だ。僕はずっと原発はイヤだとずっと思ってきた。何がイヤかって、危険だからだから、電気をなるべく使わない様にラジオも生音、お金に対する意識も変わった。ので投げ銭でラジオをやった。人や、あつ当然、ものに頼らず、なるべく自給自足したかった。これが必要だと思っ、込ませたおどろきかきのは甚かべんだった。一人がやっても何も変わらないとは絶対に思わぬ、様にした。でも、今、みんなと変わらうとしている。原発が悪いんじゃない。原発だ、でも、早く関心を持ってたら、何とかなった。ポー、としているうちに、日本にはすでに55基も建っている。

誰かがやってくれよう。誰かにまかせなければ。自分は見ただけじゃいや。また新しい社会でも、人まかせでは何も変わらない。もっと政治や政策に目を光らせて。自分たちの意見をどんどん言うていかなあ。また同じことのくり返しだ。食べ物だ、人まかせ。自分でも作るのに。自分の足で、土で足つけ。お金で解決いらないで。とこへまで生きよう、というのはどうでしょう？

今までの社会にムリがあつたんだよ。お金をね、とすべてをすませた。お金ですべてを買、い、知らぬまに お金の奴隷にな、った。

今回の事は誰も悪くない。悪いのは自分たち。だからいかに遠くに逃げても、自分の生き方が変わらな、限り同じ事に起る。今こそ、生活のスタイルを変えて、原発を完全に必要なくする、どうすればなる。またここでエネルギーを他のものでまかなうとかでなく、とにかく、生活をシンプルに物が流されたと思、い、い、切、し情報とも離れたみでは？

頭の中で想像してより、実行すれば原発はなくなる事ができると思、う。元にもどったらダメだ。また食、い、な、ら、さ、か、て終、わ、り、迷、断、固、拒、否。これ以上の文明も拒否。ダ、ク、ゼ、ッ、ク、イ、僕らは電気中毒だった。今、足を洗おう。ご両親も喜ぶますよ。新しい時代も楽しんで生きよう！皆様、愛します！！

※ いとも立、ともいらたなかつたのど、仙台、福島、群山と、有、た、ち、の、顔、を、見、に、行、き、ま、し、た。旅行ヤ人も不安を抱えながらも元気にわ、い、る姿も見、安心しました。今はどんく一本でも嬉しいと思、います。できる事を。